

# 学内共同教育研究施設等

## 国際教育・研究センター

施設等の名称	内 容 等
国際教育・研究センター	教育・研究両面での国際交流と留学生交流等を推進するため、国際交流協定の締結、国際交流に関するプロジェクトの推進をはじめ、外国人留学生のための日本語等の教育プログラムの実施、修学・生活に関する指導や相談を行っている。また、学生の海外派遣等に関する助言及び支援、日本語・日本事情教育等関係領域の調査・研究を行うことを目的としている。



日本伝統文化実践  
「邦楽器演習」



学内海外留学フェア  
ブースの様子

## 未来先端研究機構

施設等の名称	内 容 等
未来先端研究機構	未来先端研究機構は、群馬大学が強みを持つ統合腫瘍学（重粒子線によるがんの治療開発等）や内分泌代謝・シグナル学（生活習慣病の病態解明等）などの研究分野において世界水準の研究力を強化することを目的とし、先端的な研究組織として平成26年4月に設置された。 この機構は、グローバル化に対応するため、年俸制を導入するとともに、海外トップクラスの研究者を招へいして海外研究機関の海外ラボラトリーを設置し、国際共同研究を実施している。



若手研究者の研究活動の様子



外国人研究者の  
研究活動の様子

# 共同研究拠点等

拠点等の名称（主たる担当部署等）	内 容 等
内分泌・代謝学共同研究拠点 （生体調節研究所）	内分泌・代謝学および関連領域において、臨床医学研究者を含む研究者コミュニティから要請された共同研究を、研究材料や解析技術の供与によって推進する。そして、その成果発表、研究交流を通じて、当該領域における研究者の育成に寄与する。
アドバンスカーボン構造・ 機能相関解析研究拠点 （理工学府） （機器分析センター）	「低炭素社会構築に向けた研究基盤ネットワーク整備」事業 群馬大学のカーボン材料研究グループが有する、①カーボン材料に関する研究開発とその技術的蓄積、②機能性ナノ材料であるナノシエルの開発力、③カーボン材料の構造及び機能を解析する研究力、以上、3つの特徴をフルに活用することにより、サテライト拠点としてハブ拠点と連携して低炭素社会の構築を目指す。